

# 公ほすぴたる

組合立病院 ◇公立豊岡病院◇公立豊岡病院日高医療センター◇公立豊岡病院出石医療センター◇公立朝来梁瀬医療センター◇公立朝来和田山医療センター



▲手術室での実習風景  
(左手前がエリックさん)



▲豊岡病院形成外科の医師達と一緒に  
撮りました (左から2番目がエリックさん)

## 院内 インタビュー INTERVIEW

### 第2回

院内インタビュー二回目は、マレーシアからはるばる日本にやって来たエリック・コー・ポイ・ヒョンさんです。彼は、マレーシアの医学生で、高校生時代は豊岡で暮らしたこともあるそうです。二月四日から二十七日までの三週間、豊岡病院での病院実習目的で来日されていました。実習の感想や豊岡での生活などインタビューしましたのでご紹介します。

ポールなどで実習をしています。  
—いつごろ豊岡に来たの？—

●マレーシアでは小学校六年のあと、五年間の高等教育があります。その四年生の時ですから、今から七年前に交換留学生として豊岡に来て、ホストファミリーのところ滞留しました。

—日本の医学部入試は難しいけど、マレーシアはどう？—

●入試はありません。その代わりに、一年間特別な学校に通う必要があります。

—マレーシアの医学生はやっぱりめちゃくちゃ真面目に勉強するのかな？—

●うーん、色々かな…

—やっぱり一緒やね。で、本題。なぜ、この国の、この病院を実習先に選んだの？—

●少しばかり日本にご縁があったのと、マレーシアだけでなく、世界中にあまり例が無い、珍しい日本の医学教育システムについて知れたからです。もうひとつ大きな理由は、日本語の医学用語を知りたかったのがあります。

—なぜ？—

●単純に面白そうだったからです。

—この土地の印象は？—

●「ほんとにほんまに優しいの人。マレーシアにそんなに優しい人はおらん。ほんとに。」

—日本、この病院に来たのはなぜ？—

●学生全員に四週間の病院実習が義務付けられていてその中で選びました。

—どんな病院でもいいの？—

●マレーシア国内でも、国外でもいいです。同級生はタイ、米国、シンガ

―病院のスタッフは、ちゃんと君の望んでることを教えてくれてる？

●形成外科にお世話になつていたのですが、ここでの一週間は、マレーシアでの同じ一週間よりもはるかに勉強になりました。

―週間、一日のスケジュールはどんな感じ？

●毎日九時から四時半まで実習です。

―手術は火曜と金曜。月・水・木曜日は、外来と、病棟。」

―それにしても日本語うまいなあ。スタッフとのコミュニケーションはうまくいくてる？

●日本語は、ゆっくりなら大丈夫。速く話されると、ちょっと無理。話すのも、関西弁、京都弁、大阪弁、色々あるから大変。

―外来ではどう？

●ここでは、マレーシアには無い非常に珍しい症例を見ることができ、勉強になります。また、外来にコンピュータが入っていて…

―マレーシアはコンピュータ無いの？

●はい。

―電子カルテ使ってみました？

●読んでみたけど、漢字があまり読めないから…

―病棟ではどうですか？

●先生と一緒に回診しています。

―患者さんと話すの？

●見るだけです。まだ日本語が下手なので、話かけません。間違つたことを言つたら大変なので…

―心臓血管外科の手術を見たって聞いたけど？

●半分だけしか見ませんでした。とても興味があつたのですが、まだちゃんと学んでないので、先生の説明がよくわからなくなつて。難しかったです。心臓や肺の解剖はわかるけど、手技なんかはちょっと…でも、初めて生きている人の心臓を見たので、面白かったです。

―将来何科の医師を目指してるの？

●本当は、形成外科。でも、私の国では、専門家になるまで非常に時間がかかります。医学部五年、研修医二年、国家の義務としての勤務二年、一般外科四年、その後形成外科の研修四年ということになります。

―長いな。

●だから、場合によっては、義務としての勤務の後、一般外科のかわりに、米国などの外国で産婦人科医としての勉強することも考えています。その方が早く一人前になれるので。

―豊岡市長とはなぜ知り合い？

●七年前、豊岡高校に交換留学生として私ともう一名、計二名がマレーシアから来ました。私は豊岡病院の職

員の家庭でお世話になりましたが、もう一人が市長のお宅がホストファミリーだったので。週末に姫路城や色々な場所に連れて行って貰い、そのときに市長の奥さんや娘さんと知り合いました。

―豊岡高校での思い出は？

●設備が非常に整っていると思いました。体育館や、研究室など、非常に清潔で。また、学校の時間も非常に異なり、良いシステム。マレーシアでは午前が低学年、午後が高学年という風になってます。子供が多すぎるからだと思います。

―この街の印象は？自然とか…

●ここは田舎だから、木、花、川もある。都会的なものは少ないけど、自然はある。

―どう思う？どっちが好き？

●自然の中はとてもいいから住むなら田舎だけど、都会も、何でもあるので、それもまた良しです。

―比べようがないと？

●はい。ただ、車の量が少ないのは良いですね。

―最後の質問。医師としてここに戻ってくるつもりはある？

●可能ならば、絶対戻ってきたいです。

―可能ならば？ 何か障害になるものがあるの？

●言葉。

―それは大丈夫やって。

●いや、マレーシアで日本語学校を一年、二年、それから日本の大学に入る必要があります。それから、日本の医師免許を得るには、日本で国家試験を受けなければなりません。試験を受けるには、医学の学位と、日本の国際語学試験をパスしなければなりません。

―全ての但馬地域の人が、あなたが医師として戻ってくるのを楽しみに待っています。

―因みに、ガールフレンドいる？

●いません。

―ここにいる明日までの間に日本人のガールフレンド作っておいたらよかったのに(笑)。



▲豊岡市長とツーショット！

医局だより

高齢者と病気のお話

公立豊岡病院 出石医療センター 内科 阿江竜介あえりゅうけい 医師

誰であっても可能であるならば健康で病気のない生活をしたかったというのは言うまでもありません。ところがだんだん年老いてくると、そうも言っているだけになってきます。体のどこかに痛いところが出て来たり、目には見えな

に伴う病気は、完全に治ることが困難なため、やはり可能な限り「元氣」な状態を維持することが大切になります。

いところが出て来たり、目には見えな内臓では、心臓や腎臓なども、年とともに老化してしまいます。老化により機能が低下してしまった体は、若返りの薬でも飲まない限り元には戻らないため、出来る限り「元氣」に年をとりたいたいものです。

自分が生まれた年に父親が乗っていた自動車を譲ってもらい、今でもずっと乗り続けている私の知り合いがいます。その自動車は製造からもう三十年近く経過しており超高齢車と言えませんが、一般道はもちろんのこと高速道路でも違和感なく走れる車です。私の知り合いは、特に自動車のことを詳しく知っているというわけではありませんが、彼の自動車は今でも故障のない現役車です。どうしてか？と聞いてみたところ、彼は「大事にする愛情とメンテナンスだ」と答えました。

医療の世界では、例えば心臓が弱った状態のことを心不全、腎臓が弱った状態のことを腎不全と呼び、これらに伴って心臓の機能が弱ってしまった状態についても、やはり心不全と考えます。病気にもいろいろありますが、風邪や打撲のように時間とともに自然に治ってしまうものもある一方で、老化

あるかもしれないですが、彼の言う『大事にする愛情とメンテナンス』は人間にとっても同様かもしれません。メン

テナンスとは「維持する・管理する」という意味です。人間にとって老化は避けられないことですが、臓器が弱ってしまったとしても、元氣な高齢者はたくさんいらっしゃいます。私は、高齢者にとって病気とは一〇〇%治せるものではなく上手にメンテナンスするものであり「元氣」な状態を維持・管理するものであると考えています。

高齢者にとって、身の回りのことが何でも自分で出来るのが好ましいに違いありませんが、やがてそれが出来なくなれば、介護する人が必要となります。この場合には「いつもありがとう」という感謝の言葉を原動力として、介護者が愛情を持って「元氣のメンテナンス」をする必要があります。

介護される人がいつでも感謝の気持ちを持たないことで、介護する人との良好な二人三脚の関係が生まれ、上手に「元氣」を維持・管理することが出来ます。

こういった中で、もしも急激な病気の悪化などで元氣な状態を失ったときに必要となるのが「入院療養」です。入院は「病気を治すため」にすると考えるのが一般的ですが、たとえば病気が治ったとしても「元氣」にならないと

退院できません。実際には、病気は治ったけれども元氣では無くなってしまったという高齢者は少なくないの

で、なかなか退院が出来なかったり他の病院や施設に転院することもしばしばあります。逆に、病気が完全に治らなくても、本人が「元氣」であれば退院します。つまり、入院は「元氣になるため」にするものと考えられます。





とや、退院しても元気に過ごせるような方法を考えていくのが我々の仕事と考えています。たとえば病気が完全に治らなくても元気に毎日を過ごせるように、高齢者・介護者・医療福祉の三人四脚を円滑に連携・サポートできる地域的な医療を重視しています。また高齢者医療は、お金をかければかけるほど元気になれるというわけではありませんので、病気が治ったという結果よりも、患者さんにどう接したかという過程を大事にしています。そして、入院患者さんのみならず、一生懸命に愛情のこもったメンテナンスをしつかりしてくれている介護者の方々に「あなたのおかげで元気なですよ」と言える病院でありたいと考えています。

今は、高齢化と医師不足が全国的にも大問題となっていて、限りある医療資源を有効に利用しなければいけない時代になりました。だからこそ、病気だけをみてマニュアル化された医療ではなく、一人一人の社会背景もふまえた柔軟性のある医療が必要だと考えています。我々は、高齢者が「元気」に過ごせるように、愛情をこめたメンテナンスを指導できる医療者でありたいと思っています。

## 救急医療を守る医師達が疲弊しています

救急医療を守るためには、地域の皆様のご協力が必要です。  
豊岡病院救命救急センターの適切な利用をお願いします。

コンビニとはコンビニエンス（便利な）ストア（店）の略です。24時間、いつでも買い物ができるという便利さから生まれました。近頃では、24時間開いている救命救急センターを、ちょっとしたコンビニ感覚で受診する方が増えてきています。このままでは、本来の役割である急病・重病の患者さんへの対応に支障が生じるだけでなく、医師の負担増につながり地域医療を守れなくなってしまいます。

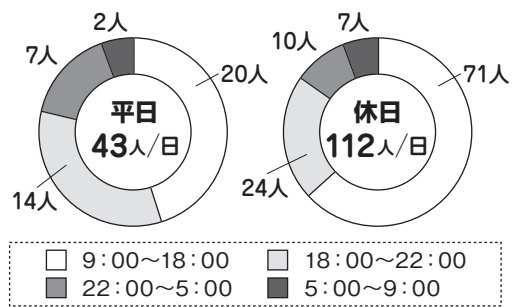
現在、救命救急センターで当直に当たる医師は、日中の通常勤務を終えた後に引き続き当直を行い、翌日は平常どおりの外来診療や検査、手術を行うという長時間に及ぶ連続勤務が避けられない状況にあります。また、当直以外にも急変に備えた病棟の待機、専門的治療が必要な場合に備えた救命救急センターの待機、休日の緊急入院患者様の処置など、心身の休まる時間がありません。

限られた人員で運営せざるを得ない救命救急センターが、重症者の治療に専念できるよう、そのためにも、医師の業務負担の軽減に向けて、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。



▲当直中につかの間の休息をとる医師

### 1日当たりの利用者（時間帯別）



(平成20年1月実績)

### 救命救急センターの状況

- 周辺病院の医師不足による機能低下  
→ 豊岡病院へ患者さんが集中
- 利用者数の増加  
(H15と比べて約30%増加)
- 救急車の受け入れ増加  
(H15と比べて2倍以上に増加)
- 夜間受診者が増加  
(受診者全体の約半分が夜間受診)
- 軽症者が多い  
(受診者全体の9割近くは入院の必要なし)

### 救命救急センター受診時の 知っていただきたい5つのお約束

- ① 緊急度・重症度の高い方を優先します  
→ 救急車で来院されても後回しになります
- ② 緊急性の有無により待てる検査は後日専門科やかかりつけ医（開業医）に依頼します
- ③ 薬は原則一日分の処方しかしません
- ④ 診察は原則救急医が当直担当医がします  
(最初から専門医が診ることはありません)
- ⑤ 開業医さんの夕方診察・土曜午前診察の活用をおすすめしています



▲ 見直しを検討中の透析センター

日高医療センターよりお知らせ

## 透析医療体制の見直しにご理解ご協力をお願いします

公立豊岡病院日高医療センターでは、昭和五十二年に但馬初の人工透析室を開設して以来今日まで、「安全で安心した透析医療の提供と患者様の利便性の向上」を心がけて運営してまいりました。

しかし、近年の透析医療を巡る様々な環境変化や医師不足により、このままの医師体制では従来どおりの透析医療を継続することが難しくなっています。現在、約一六〇名の透析患者様を二名の内科医師で担当し、透析実施時間帯は急変等に備えて、年中拘束されている状況で、医師への負担が非常に大きくなっています。

現在、医師の負担軽減等を目的に、夜間透析の縮小など体制の見直しを検討しており、今後、その内容について患者様への説明会や広報等を通じて皆様にお知らせして、ご理解を深めてまいりたいと思います。市民の皆様には透析医療に当たる医療現場の状況をご理解、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

### 平成20年7月から

## 豊岡病院の入院医療費の計算(支払)方式が変わります

**豊岡病院は平成20年7月から「包括支払制度(DPC)」を適用する病院になります**

- これまでの「出来高払制度」では、診療で行った検査や注射、投薬などの量に応じて医療費が計算されていましたが、この「包括支払制度(DPC)」では、病名や手術、処置等の内容に応じて設定された1日あたりの定額の医療費を基本として全体の医療費の計算を行います。
- 手術などの医師の専門的な技術料等については、従来通りの出来高払方式で医療費が計算され、入院にかかる医療費は、定額分と出来高分の合計となります。
- 患者様の一部負担金の支払方法は、従来の方と基本的に変わりありません。ただし、入院後、症状の経過や治療内容によって定額分が変更になった場合には、請求額が変動することになるため、退院時等に、前月までの支払い額との差額の調整を行うことがあります。
- 高額療養費の扱いにつきましては従来と変わりありません。
- 外来の患者様や、「包括支払制度(DPC)」に該当しない入院患者様の医療費の算定方法につきましては従来どおり出来高払方式です。全ての入院患者様がこの制度の対象となるわけではありません。(歯科・口腔外科、精神科、労災、自費での入院なども対象外です。)
- 平成20年7月1日以降に入院された患者様が「包括支払制度(DPC)」の適用となります。(それまでに入院されていた患者様は、現状どおり「出来高払制度」を適用いたします。)



#### ◆ ご不明な点は下記まで ◆

公立豊岡病院 医事課 DPC係  
電話番号 0796-22-6111

※お問合せいただける時間は、午前8時30分～午後17時15分です。  
(土・日・祝祭日、年末年始を除く)

## 新任医師紹介

新たに職員になりました!! どうぞよろしくお願ひします。  
(平成20年2月2日~4月1日)



和岡山 内科  
副院長 今井 雅尚



豊岡 外科  
医長 川口 道也



豊岡 外科  
医長 中島 研郎



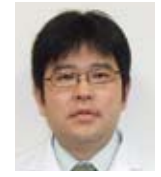
豊岡 脳神経外科  
医長 小山 淳二



豊岡 循環器科  
医長 岡田 武哲



豊岡 歯科口腔外科  
医長 山田 理浩



豊岡 歯科口腔外科  
医員 田中 昭生



豊岡 産婦人科  
医員 岡田由貴子



豊岡 精神科  
医員 望月 航



豊岡 小児科  
医員 木寺えり子



和岡山 整形外科  
医員 岩佐賢二郎



豊岡 小児科  
医員 横田 知之



豊岡 形成外科  
医員 富田 浩一



豊岡 耳鼻咽喉科  
医員 宮崎 拓也



豊岡 脳神経外科  
医員 溝脇 卓



豊岡 小児科  
医員 山本 哲也



豊岡 循環器科  
医員 破磯川 実



豊岡 精神科  
医員 荒木 賢介



豊岡 総合診療科  
医員 山田 博之



豊岡 総合診療科  
和岡山 内科  
医員 林 宏樹



豊岡 総合診療科  
豊岡 麻酔科  
医員 井上 明彦



豊岡 総合診療科  
豊岡 救命救急センター  
医員 松井 大作

### 【豊岡病院総合診療部】 (組合外病院勤務の者)

村岡病院総合診療科  
医員 北尾 草人

### 異動医師紹介

医師の病院間異動をお知らせします。  
(平成20年2月2日~4月1日)

#### 【豊岡病院総合診療部】

八鹿病院へ 吾郷 耕彦 (豊岡病院)  
香住病院へ 加藤 健 (豊岡病院)  
豊岡病院へ 加藤知恵子 (八鹿病院)  
豊岡病院へ 高部 倫敬 (村岡病院)



## 退職医師紹介

お世話になりました。  
(平成20年2月2日~4月1日)

- ・豊岡病院 外科 金子 巖
- ・豊岡病院 整形外科 椋棒農夫也
- ・豊岡病院 整形外科 太田 雅人
- ・豊岡病院 循環器科 五十嵐宣明
- ・豊岡病院 外科 園田憲太郎
- ・豊岡病院 形成外科 増田 鋼治
- ・豊岡病院 歯科口腔外科 東郷由弥子
- ・豊岡病院 精神科 中江 尊保
- ・豊岡病院 精神科 久保田 学
- ・豊岡病院 歯科口腔外科 宮本 郁也
- ・豊岡病院 歯科口腔外科 上田 純
- ・豊岡病院 産婦人科 齋藤 暁子
- ・和岡山医療センター 整形外科 奥町 悦子
- ・八鹿病院(総合診療部) 総合診療科 高木 信明
- ・浜坂病院(総合診療部) 総合診療科 吉松 茂
- ・和岡山医療センター 総合診療科 脇 貴洋
- ・香住病院(総合診療部) 総合診療科 中田 華子

### 一兵庫県小児救急医療電話相談一

◎市外局番が06-072以外のプッシュ回線の方

# 8 0 0 0

◎市外局番が06-072、ダイヤル回線、携帯電話、IP電話の方

ははきゆうきゆう  
(078)731-8899

#### 《相談時間》

平日、土曜日 午後6:00~午後10:00  
日曜日、祝日及び年末年始 午前9:00~午後10:00

子どものけが、病気で困った時はまずココに相談

### 編集後記

平成15年11月に創刊して、今号まで約4年半での20号達成です。この間、横書きから縦書き、白黒からカラーへと変わってきました。これからも皆様と病院との“架け橋”を目指し、分かりやすい広報紙を目指していきたいと思ひます。《編集委員 Y》

◇発行 公立豊岡病院組合 ◇〒668-8501 豊岡市戸牧1094 ◇TEL 0796-22-6111(内線2111)

◇URL : <http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/> ◇E-mail : [kikaku@toyookahp-kumiai.or.jp](mailto:kikaku@toyookahp-kumiai.or.jp)

●本紙掲載の写真・イラスト・記事の無断使用・無断転載は禁じます。